

## 「今後の道路整備に関するアンケート調査」へのご協力のお願い

道路建設課

県では、道路整備の効果を判断する指標の一つとして、整備による移動時間の短縮、走行経費の減少などを貨幣換算し、数値化した整備効果（B）を、事業に要する工事費などの全体事業費（C）で割った費用対効果（B/C）を用いています。

一方で、道路整備には、運転時の安心感など貨幣換算が難しく整備効果として数値化できない様々な効果があるとされています。

このため、県では、いくつかの道路整備の例を示しながら、運転時の安心感を含めた道路の整備効果を貨幣換算し、数値化するため、平成23年11月15日まで今後の道路整備に関するアンケート調査を行っています。

県民の皆様のご意見を取り入れながら、今後の道づくりに活かしていきたいと考えていますので、アンケート調査へのご協力をお願いします。

なお、アンケート調査は、下記の県のホームページで行っています。

### 1 アクセス方法

県トップページ

県政に参加する（ページ左側中段）

公募・アンケート

今後の道路整備に関するアンケート

(<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=3098&of=1&ik=1&pnp=3098&cd=34626>)

### 2 実施期間 平成23年11月15日（火）まで

### 3 アンケート調査の流れ

◆**仮想条件**（※必ずお読みください）

あなたは、A町で暮らし、A町の通勤や通学、買い物などのために自動車で行く。A町からB市に向かう道路は、急カーブ・急勾配が連続し、道路の幅も狭いため車線間をすれ違っても難し。A町→B市間の距離は約10kmである。A町→B市間の道路は、快適で安全に通行することができたい。

【A町～B市間の状況 距離は約10km】

そこで、これらの支障箇所を解消するため、次のページのパターン1～5に示すような手法で道路を整備しますが、整備された道路を通行するには、それぞれ適した整備パターンが必要となります。

仮想条件をお読みください

◆**整備パターン**

パターン1 現在の1車線道路とは別に、新たに2車線の道路を整備

◆**整備イメージ**

- 道路の幅 → A町からB市までの約10km、1車線から2車線になり、すれ違いが容易になります。
- 急カーブ → A町からB市までの約10km、急カーブが解消されます。
- 急勾配 → A町からB市までの約10km、急勾配が解消されます。
- 両側通行 → A町からB市までの約10km、対向車がすれ違えるようになります。

質問3-1 パターン1のとおり道路が整備され、以下3～5に示す通行料をお支払いいただくとした場合、いくらかまで通行料をお支払いに同意できますか。①～⑤それぞれについてお答えください。なお、通行料は1台1日あたり（片道）の通行にのみかかります。

【それぞれの場合に示すお答え下さい】

① 20円の通行料	1. 支払う	2. 支払わない	3. どちらとも決まらない
② 40円の通行料	1. 支払う	2. 支払わない	3. どちらとも決まらない
③ 60円の通行料	1. 支払う	2. 支払わない	3. どちらとも決まらない

【支障を解消するための整備手法】

① 1車線道路で車線間をすれ違っても難し、急カーブが連続

パターン1 現在の1車線道路とは別に、新たに2車線の道路を整備

パターン2 現在の1車線道路を2車線に拡げる整備

パターン3 現在の1車線道路のうち、特に悪い部分だけを拡げ、見通しが良くなり、車は1車線のままの整備

② 両側通行ですが幅が狭いなど大型車等とのすれ違いが困難、急カーブが連続

パターン4 現在の2車線道路とは別に、新たに2車線の道路を整備

パターン5 現在の2車線道路を拡げる整備

道路の整備パターンをいくつか示します

整備パターンごとに整備されるイメージをご確認いただき質問にお答えください